

# これからの若い人たちのために、いま行動を

## アパレル業界からデフレ脱却を目指して

—— BIOTECHWORKS-H2とやり遂げないといけないこと。

これまでのアパレル産業は大量生産、大量廃棄を続けてきましたが地球環境の為にもいつか終わらせなければならない。価格重視のもの作りをした結果、環境への負荷、またデフレからも日本は脱却できない現状になってしまったのだと考えます。これからの世代が未来にこのアパレル産業を守っていくために、今から行動が必要だと思っています。

—— 我々の事業として進むべき方向は見えている。

市場価格に合わせるだけの物づくりではなく、社会や環境に価値のあるものを生み出す事が出来る工場でありたい。その為にも、一緒に取組みを考えています。

—— やまぎん初参加のサステナブル展から付き合いはスタート。

洗える防護服で「自分たちで製品も作れます!」という点でまず目に止まり、縫製仕様も指導をしている点でさらに興味を持ちました。その後すぐにBIOTECHWORKS-H2の話を聞いて、謎が深まりもっと知りたいと思ったんです。加えて、繊維製品以外でも水素化が出来ると聞き、他部署で抱えていた課題の一つ、食料残渣問題にもマッチングしました。あらゆる可能性に興味を湧きました。

特に感じたのは、自社縫製工場がベトナムにあります。未来、ベトナムに水素プラントがあったら繊維製品だけではなく他の原料や残渣含めて、ベト

ナム全体のエネルギーインフラにも繋がるという理想まで描きました。



ベトナム自社工場

もちろん最初は怪しい?と思いました。それは事実ですが、だからと言って今後の社会でサステナブルを進めていくべきだということは明確ですよね。私はそれが必要だと思っています。そして、BIOTECHWORKS-H2を知った今、一緒に取り組んでみることを社内にも提唱しています。持続可能な事業運営、また社会や未来の子供たちの為にも一緒に考えてみたいと思いました。

これから先BIOTECHWORKS-H2はどんどん実績を出していくでしょう。それを見て、聞いて、次に繋がっていくものだと思います。もっともっと沢山の人が知ってもらいたいですね。

誰にも愛される明るいキャラと思いきりのよさが魅力的。それでいて綿密な戦略と鋭い感覚でビジネスを繰り広げるディレクションリーダー。彼女の魅力にファン多数。



野村貿易株式会社

ライフ部門 アパレル第一事業部  
東京ユニフォームビジネスグループ部長  
坂本 ゆかりさん